今日の天気は？

作成日：2022/ 6 / 3
対象児：3歳児ゆり組
作成者：小城亜矢子

ねらい：梅雨の自然や生き物に興味を持つ

振り返り

暑い日、園庭に水打ちをしていると「にじあった！」とシャワーの中に虹を見つけた女の子。そこから虹ブームのゆり組です。これはいい機会だなと思い、毎日「今日の天気は？」と子ども達に質問しています。わかりやすい晴れや雨の時は自信満々に答えてくれますが、曇りの日は「くも？」「はれとる？」「でも雨ふってない」と自分なりの表現がおもしろいです。制作でも梅雨の時期にちなんだものをしました。タンポを「てるてるぼうずみたい」と言ったり「あじさい咲いとった」「かたつむり飼いよるよ」と、ご家庭で経験したことを繋げて言葉で伝えようとする姿にしっかりと耳を傾けて、子ども達の思いを共有できたらと思っています。ある日、朝からザーザー降りの雨。子どもたちは園庭で遊べないことが残念で、何度も戸から外を眺めては「まだやまんなー」「なんで雨ふるんよなー」「傘さしたらいかんの？」と外で遊びたい思いにあふれていました。雨が止んだ合間を見計らって少しだけ外に出ました。大きな水たまりがいくつもできていたので、保育者も裸足になって率先して水たまりに入ると、子ども達もワクワク顔で参加！あっという間に全身びしょびしょになって遊びました。「水たまりって冷たい！」「びちゃびちゃやなあ」「なんかどろどろする」と子ども達からいろんな表情や言葉が飛び出しました。梅雨の今の時期だからこそ出会えるものや経験できるものがあります。子ども達から出た言葉を拾ったり思い付きを取り入れたりしながら、それらを保育に結び付けていくことで、その経験はより深いものになるし、活動も楽しめるのではないかと感じます。子ども達がその環境の中で主体的に活動を展開していけるように、保育者だけがその環境を作っていくのではなく、子ども達からの発想や気付きを大切にして保育内容を計画していくことの面白さを実感した梅雨の出来事でした。（自然との関わり・言葉による伝え合い・協同性・豊かな感性と表現）